

【説明資料①】全国高校生1億円プロジェクト ～未来の大人が未来を創る！～

全国高校生1億円プロジェクト（億プロ）を立ち上げるにあたって

現在、SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）に取り組む高校が全国で70校以上と増えています。SBPは、高校・地域・行政等が一致団結して協力の体制となっており、地元の人材を育て、盛り上げる仕組みとして文部科学省等を中心に位置づけられております。今回はさらに、組織の垣根を越え、**全国各地のSBPが連携**することで**全国規模での取組を企画・参加できる仕組み**を作ることができ、さらなる高校生の成長とそれに伴う地域の活性化を促せると捉えています。



目的

『SBPで未来を元気に！』
取組の披露・交流するステージを**高校生自ら作り、全国の高校生が集まれる仕組み**を作ることにより人材育成・地域活性化のモデルとして構築する。

■取組を検討していく上でのポイント

- ①使命感・社会的意義（場所等を社会的背景も踏まえて設定）
- ②わくわく感（今までで出来たらいいなと思っていたコラボ）

仕組み

基本的にはこれまでのSBPの手法と同じ

- ①地域の課題を考え、取組を企画する
- ②自分たちで活動費を捻出（将来的に）
- ③確保できた資金をもって取組を実行

これを全国規模で！議論はweb会議

やることは大きく2つ

- 全国を巻き込んだ企画の実施
- 全国の特産品等を入れたセレクトギフトの作成

- 【1年目】プロジェクトの企画
- 【2～4年目】資金確保プロジェクトの実行

1年目にベースとなる企画を構築。2～4年目でブラッシュアップしながら実行。4年1セット

各立場の役割

【プレイヤー】 全国の高校生

プロジェクトの企画・運営
ギフトの企画・受注

【サポート】

高校のある行政・企業・地域等活動が円滑に進むための支援、
その他事務局と連携した各種調整

【事務局】

（一社）未来の大人応援プロジェクト
売上や経費の管理や事務手続き
全体のプロデュース

将来的な展開（2021年はコロナの影響で第0回としてパンフ・ギフト制作まで実施）

参加都道府県（高校数）や取組の規模などスモールスタートで徐々に広げる

【2021年】
7道県の参加

【目標】
47都道府県

■取組を進める上でのポイント
目標に満たなくても「現状でできることは何か」or「足りない部分を補うにはどうすればいいか」を考える

『1億円』は取組の規模感であり、売上目標にはしない

第1回全国高校生1億円プロジェクト（億プロ）の目玉

五所川原立佐武多への高校生ブースの出店



全国の高校生との大交流会の開催



全国版セレクトギフトの製作



■今回の取組実施における仮説

五所川原立佐武多という全国から集客のある大きな舞台で、自分たちがどんなことできるのか挑戦し、どのような影響を与えることができるのか実証していく！

■取組を通じた教育的効果の例

地元愛の醸成、他地域との比較・理解、企画力・プレゼン力の向上、全国規模の取組実施による達成感・自己肯定感の向上等

2022年
（第1回）
は？

一連の流れ（2022年4月から第1回始動！）

①参加校募集

⇒幹事校（鯉ヶ沢高校）の呼びかけで県内・全国から出揃う

②プロジェクトの企画

⇒web会議で議論

③パンフレットの企画・制作

⇒各高校原稿の制作・デザイン制作

④セレクトギフト企画・制作

⇒箱デザイン、商品の選定等

⑤プレスリリース

⇒幹事校を中心に教育長等へ表敬訪問

⑥パンフ・セレクトギフトの配布

⇒各高校・お世話になった各関係者へ

⑦五所川原立佐武多開催⇒後輩へフィードバック



- ・1つの箱に各都道府県単位で商品を入れるイメージ
- ・テーマを設定し各都道府県で商品選び

取組の企画・実施

【取組の企画】

- ・web会議でチャレンジしたい内容をアイデアを出し合い、企画を検討。
- ・**各高校の特徴などを活かしながら役割分担**
- ・出展内容を決定

【企画した内容の実施・おもてなし】

- ・実際の企画を高校生が中心になり運営
- ・県内外の高校との交流会も含め企画

第0回で企画していた内容

【五所川原立佞武多祭りへブース出展】

- ・2021年8月3日：県外高校合流、前夜祭
- 8月4日：ブース出展、交流会、祭り見学
- 8月5日：解散

【出展予定だった各高校のブース】

北海道留萌高等学校	Sの絆焼き(かずもちゃん焼き)、缶バッジ等販売
五所川原第一高等学校	パニアアイスを入れたお焼き、オリジナルパッケージのリソージュース、子人刺し柄のコースター
五所川原商業高等学校	アップルパイ
青森県立鯉ヶ沢高等学校	Sの絆焼き(カシクンお焼き)
青森県立黒石高等学校	ふたば未来学園のサポート
青森県立六戸高等学校	ピオーブの展示、樹脂標本の販売、メープルシロップ販売
青森県立十和田西高等学校	これまでの取組の展示
福島県立ふたば未来学園高等学校	Fのわたあめ、ドレッシング販売
浜松学芸高等学校	ポスター展示
愛知県立高浜高等学校	Sの絆焼き
三重県立相可高等学校	Sの絆焼き
三重県立飯南高等学校	木の手帳などの販売
三重県立南伊勢高校南勢校舎	Sの絆焼き(たいみー焼き)
熊本県立天草拓心高等学校	Sの絆焼き(あまりん焼き)

五所川原立佞武多祭り

これらの内容を
web会議を通じて議論！

全国版セレクトギフトの制作

【商品の選定、事業者への交渉】

- ・テーマを設定し、そのテーマに関連する商品を**各都道府県単位で選定**（1県に複数校ある場合はその中で議論して決定）
- ・制作したギフトは参加校、関係者等に配布。**将来的には協賛金の返礼品**として贈呈を想定。
- ・可能な範囲で生徒から原稿依頼など行政・地域の事業者へ相談。
- ・**費用面は事務局負担**で行う。

【内容物】

- ・参加校のある各都道府県の特産品等の商品、
- ・パンフレット など

【特徴】

- ・**全国の高校生が一押しの商品と地元の想いを1つのギフトに！**
- ・各都道府県に数量限定！
- ・オリジナルデザインのパッケージ！

- 本プロジェクトにおけるセレクトギフトの考え方
- ・将来的に、得た協賛金をプロジェクトの経費として充て、可能な限り自走できる仕組みとして構築を目指す。

第0回に制作したセレクトギフト

【テーマの設定：『色』】

商品選びのテーマを設定し地域から商品を探し出し決定
(第1回はギフトの箱、パンフレットのデザインにもテーマを流用予定)



各都道府県で商品を選出

青森県の教育長や五所川原市長にも表敬訪問

パンフレットの制作

【各都道府県で原稿の作成】

- ・**商品紹介の原稿作成**
- ・意気込みコメント作成
- ・市長や事業者からコメント依頼
- ・掲載用の写真撮影、提供

【デザインも高校生で担当】

- ・ギフトのほうでも**設定したテーマのもと担当する高校からデザインを提案**し参加校で議論、決定
- ・各都道府県のページは各高校から集めた原稿をデザイン担当の高校が編集

【制作したパンフレットは全国で配布】

- ・各高校や参加した事業者等に配布
- ・その他（一社）未来の大人応援プロジェクトの**関連する国や県など関係各所へ配布予定**

第0回に制作したパンフレット

【青森県立黒石高校が表紙・各都道府県のページのデザイン・編集を担当】



担当する生徒から5つ提案をもらい、決定・ブラッシュアップ